

校長挨拶

片平弘美

本校は、平成18年4月社会変革の一翼を担う養護学校そして教育内容において既存校や後発の養護学校をリードするモデル校になるべく開校し、本年度13年目を迎えました。

平成28年1月神奈川県立高校改革基本計画（I期）で「重点目標3 共生社会づくりに向けたインクルーシブ教育を推進」が示され、インクルージョンを目指すという本校開校の理念が広く理解され共有されることとなりました。現在は神奈川県内全ての学校が「インクルーシブ教育の推進」を目指しています。本校の12年の実践・成果が「今」につながっていると考えてよいのではないのでしょうか。

13年目からは、これまで12年間の実績・成果を整理し丁寧な振り返りをしていきます。それら積み重ねてきたものをもとに、麻生養護学校開校からのビジョン「教育のシステム化」「学校のオープン化」の内容充実に焦点を当てて取り組みます。

これまで、地域の皆様、保護者の皆様、ボランティアの皆様、数々の外部機関の皆様に支えられて麻生養護学校は歩んでまいりました。これからも充実した教育実践と研究に取り組み、学校から多様な発信ができるよう努力してまいります。

これからも、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。